

# 教員免許状更新講習会授業概要書（シラバス）

F12

大阪府立大学

講習名		植物保護の視点から食の安全と環境保全を考える		
<p>〔概要〕</p> <p>植物保護とは病害虫や雑草から植物を保護し、農作物の生産効率を高めることです。この講習では、学校での食育教育および理科教育を支える重要な基礎知識として、現在の農業生産現場における植物保護の考え方を理解することを目的とします。さらに、それらの知識をもとに食の安全や環境保全と農業生産の教育について考える機会にしたいと思えます。そのために、（１）なぜ植物保護が必要なのか、（２）植物保護のためのさまざまな技術、（３）農薬とは、（４）循環型農業、について紹介します。</p>				
日	時間割	担当者		授業内容
		所属・職名	氏名	
2019年8月22日（木）	9:00～9:10	生命環境科学域 講師	望月 知史	オリエンテーション
	第1時限 9:10～10:30	生命環境科学域 講師	望月 知史	植物保護とは何か、なぜ植物保護が必要なのか、について概説する。
	第2時限 10:40～12:00	生命環境科学域 講師	望月 知史	植物保護のためのさまざまな技術、化学的防除、耕種的防除、物理的防除などについて最新の技術や研究も含めて概説する。
	昼食休憩			
	第3時限 13:00～14:20	生命環境科学域 准教授 講師	岡澤 敦司 望月 知史	化学的防除、とくに化学農薬について、歴史、農薬に関する法律、作用機作、使用法などを概説する。
	第4時限 14:30～15:50	生命環境科学域 講師 講師	松村 篤 望月 知史	耕種的防除、とくに循環型農業について、最新の技術や研究を概説する。
	試験 16:00～16:40	生命環境科学域 講師	望月 知史	第1～4時限目の内容について筆記試験を行う。また、食育教育や理科教育へ今後どのように活かしていけるのかについて、簡単な小論文を課する。
	16:40～16:50	生命環境科学域 講師	望月 知史	事後アンケート
持参するもの	筆記用具			
備考				